

京都教区時報

Home Page <http://www.kyoto.catholic.jp> 4345

2頁～4頁 中学生広島平和巡礼 感想文

5頁 シリーズ—小教区— 魅力ある教会って??

発行 京都司教区
責任者 村上透磨
京都市中京区

河原町通三条上る
京都教区広報委員会
TEL 075-211-3468
FAX 075-211-4345

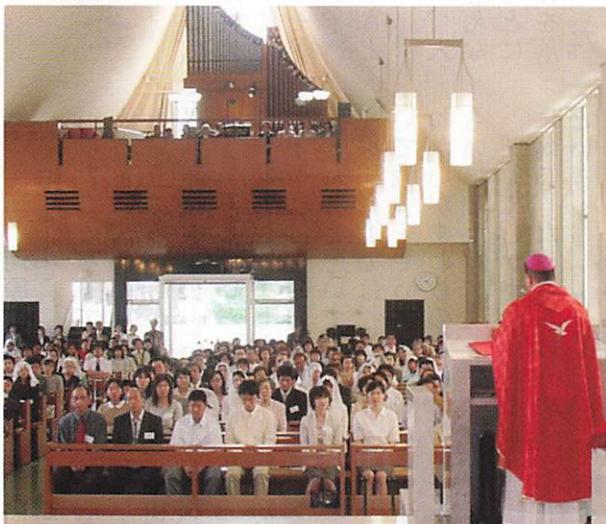
点訳版「京都教区時報」〈無料〉
ご希望の方は点訳ネット「レジナ」代表嶽崎(たけざき)裕子さんまでお申込みください。
TEL・FAX 0794-31-8601

召命－任務と協力

召命とは、神の恵みとはいえ、教会的出来事での、召命に対する一人ひとりの信徒の「任務」と召命を促進させるための協力が必要である。

召命は、神の恵みとはいえ、教会的出来事での、召命に対する一人ひとりの信徒の「任務」と召命を促進させるための協力が必要である。

召命とは、教会共同体を生かす事が出来るものでなければならず、教会は自己の働きを誇示したり、自己実現したりする場ではなく、司祭も信徒も教会共同体メンバーの召命を寛大に認め、相互に信頼と愛をもって一致した福音宣教共同体になるのです。というのが司教書の10項「召命を生かし合う共同体」の主旨である。



このメッセージを理解するためにIコリント、12章から14章を默想してみるのが良いであろう。ここで、パウロは教会が神祕体であることを語っている。パウロはまず、「教会を生かす種々の靈の賜物について語る(12・1-11)。その中で大切な言葉は、これを与えられたのは同じ神であり、それは教会共同体全体の利益のためである」という言葉である。

次に、一つの体と多くの部分(神祕体)について語られるが(12・12-31)、そこでの大切な言葉は「多くの部分があるが、体は一つである」(12・20)。互いに「お前は要らない」と言つてはならない。「弱い部分がむしろ大切」であり、「見栄えのしないもの、不體裁なもの、劣っているものが大切だ」と言つてはいる(12・21-24)。また、分裂や分け合つてがなく、調和と共に苦共喜を勧め(12・25-27)。教会における種々の役務があることを伝える(12・28-31)。そして全ての者が共通して持つべき、最も優れた道「愛」を語る(13章)。さらに教会のカリスマと呼ばれるものの中で、最も大切にされた「不思議な言葉」と「預言」の賜物について語るが(14章)、そこには大切な言葉(14・12)がある。靈の賜物を熱心に求める唯一の動機は「教会を造り上げること」である。そして最後に、教会に与えられた賜物を使う時の秩序を守るべきことを教えている(14・26-40)。

この12章から14章はパウロがコリント教会共同体に向けて書き送った手紙の頂点であり、召命を生き合う共同体を考えるのに大切なことを教えてくれる。

(村上透磨)

10
2010

コリント教会

中学生広島平和巡礼 感想文

人から人へ平和を—私たちの役割—

河原町教会 1年 Y・O

8月5日から7日まで広島平和巡礼に行つた。夏休みは、宿題と部活でいそがしかつたけれど、この3日間は、いそがしくもあり、でも、いろんなことを学べた。だから、宿題と部活のいそがしさとはまたべつだと思う。

広島ははじめて来たが予想以上に、大都会で原子爆弾が落ちた場所とは思えなかつた。だが資料館に行くと、広島には、やはり原子爆弾を落とされた悲しみや苦しみがあると思った。

だから、これからも核兵器がどれだけおそれらしいか、伝えていかないといけないといふ。世界についていたくて、いつか世界に平和を願つたといつた。だから、これがからだ

8月5日から7日まで広島平和巡礼に行つた。夏休みは、宿題と部活でいそがしかつたけれど、この3日間は、いそがしくもあり、でも、いろんなことを学べた。だから、宿題と部活のいそがしさとはまたべつだと思う。

広島ははじめて来たが予想以上に、大都会で原子爆弾が落ちた場所とは思えなかつた。だが資料館に行くと、広島には、やはり原子爆弾を落とされた悲しみや苦しみがあると思った。

河原町教会 1年 M・N

平和巡礼での広島は、今まで一度も行つたことなくて、原爆ドームがあつて、とうろう流しが8月6日の夜にあつて、というぐらいしかなかつた。予想では広島＝原爆ドームという感じだったけど、行ってみるといろいろな碑があつて、すごいなと思いました。とくに、被爆したアオギリは生命力がすごくて、よく生き残つたなと思いました。

平和行進では、みんなで歌いながら歩いて戦争をやめてほしいという僕たちのねがいがまわりの人々に伝わつたかなとおもいました。

そしてむかえた8月6日。原爆が広島に落ち、たくさん的人が死んでしまったというショックなことが起きた。僕からしてみれば、米国は日本に少しやりすぎだらうと思った。日本も悪いことをしているけど、実験で原爆はすごい力があるというのが分かつてははずなのに落としたというのは、いくら最後の手段であつてもやりすぎじゃないかなと思つた。こんなおそろしい事は2度とあつてはならないと思った。

この合宿で主に心に残つたことといえは、黙祷した時にセミの鳴き声が止まつたように思った。8時15分、米国はどうなんことを思つて原爆を落としたのか、五千度ぐらいの熱線が人の体に火傷を負わせたり、白血病にかかる人がたく山いることを知つていたら、きっと米国軍はなみだを流しただらうと思った。でも後

私が、この巡礼に来て一番印象に残つてすることは、平和祈願ミサです。初めて平和祈願ミサに参加して、御聖堂がすごく大きくてびっくりしました。人もとても多くて普段とちがうミサにおどろきました。ミサが始まつて、歌声がすごく響いてとてもきれいでした。

衣笠教会 2年 A・K

2日目の黙祷は、おなかが空いていた



けど、原爆で亡くなられた方を思って、だまってお祈りするはとても気持ちよかつたし、すごくすっきりしました。今、原爆のせいで苦しんでいる人たちも、はやくなおつて、楽しい人生になつてほしいです。

お昼ごろにあつた分かち合いも印象に残りました。普段はみんなで戦争のことについて話すきかいがないので、とてもいいきかいになつたし、戦争のことについて考えられました。私はずっと原爆をおとしたアメリカが悪いと思つていだけど、それまでに日本もおとされるまでに、ひどいことをたくさんしていただので、どつちもどつちなんじやないかなあと思いました。原爆をおとさないで、戦争をおわらす方法はなかつたのかなあとthoughtしました。そしたらたくさん的人がたくさん苦しみながら亡くなつていかなかつたかもしけないんじやないかと思ひました。分かち合いの中で、どこかの国で私たちより小さな子たちが、とてもざんこくな練習をさせられているなんて、こわ



私はこの広島の合宿は2回目で少し忘れていたこともあったので、この合宿でしっかりとおぼえられるようにがんばりました。去年とすこしうがうともしたので楽しかったです。

被爆者証言ではおもいだしたくないことに、私たちにつたえてくれたのでこのことをしっかりと次の人たちにも伝えたいし、このことをきいてあらためて戦争のこわさをしって、ぜつたい戦争はし

宮津教会 2年 Y・Y
今回の平和巡礼は、去年も来たので2回目でした。その前にも来たことがあるので、実際は3回目の広島です。なので私は「去年も來たし、新しい発見はないやろうな」と思っていました。でも、平和資料館では「やっぱり原爆は怖い」と改めて感じました。これは一昨年も去年も感じたことだったけど、今回初めて感じたこともあります。それは「今ではこんなに広島の街は復興しているけど、だから広島に原爆を落とされたということがなかなか信じられない」ということです。いろんな碑や原爆ドームや平和資料館で原爆がおとされたということはわかるけど広島の街がきれいすぎて、そういうところでしか実感できませんでした。でも次は自分たちで広島のことを伝えていかないといけないと思います。なのでミサで言ったことが実現できるようにならうと思います。

たくないと思いました。
記念資料館の見学で『カンナ』のこと
をがんばっておぼえました。カンナの花
を見にいったときは花は見れなくて残念
だつたけど、葉っぱを見れたのでカンナ
の花はこれなのかなとそうぞうで考えま
した。
黙祷では原爆で亡くなつた人たち、家
族、親戚をうしなつた人たちのために
しつかりといのりました。
とうろう流しでは、とうろう流しを見
る前にリーダーが本を読んでくれまし
た。かなしいようなこわいようなはなし
でした。そしてとうろう流しを見ました。
きれいだつたけど、あの一つひとつにお
もいがこめられていると思うと、なんだ
かすごいなあと思いました。
さいごにそうじです。この3日間こ



今回で広島巡礼は3回目でした。ちなみに広島に来るのも3回目です。その中で一番印象に残ったのは、去年と同じ平和資料館だと思います。最初にじっくり見すぎて、後の方は少ししか見られませんでした。しかしながら、いつ見ても、ひどい状態から、この様な状態にまで復興できたのは、街の人々の努力があったからだと思います。そして、「戦争を知らない子どもたち'83」であった「私達も殺されたけど、私達も殺したのですね」というところがありました。この考え方には、今と、これから平和を考えいく上で、非常に大切なものになると思いました。



みで一番印象に残ったのは、去年と同じ平和資料館だと思います。最初にじっくり見すぎて、後の方は少ししか見られませんでした。しかしながら、いつ見ても、ひどい状態から、この様な状態にまで復興できたのは、街の人々の努力があつたからだと思います。そして、「戦争を知らない子どもたち'83」であった「私達も殺されたけど、私達も殺したのですね」というところがありました。この考え方には、今と、これから平和を考えいく上で、非常に大切なものになると思いました。

それらのことを見て、改めて平和について考えるいい機会になつたと思いました。実は、正直に言うと、僕は第2次世界大戦史が好きです。しかし、そのことを、また別の視線で見なければならぬと思ひました。この巡礼で学んだことを、これから的生活に生きたいと思います。

今年、私は広島巡礼に参加できました。感謝します。3年ぶりにこの巡礼に参加しました。初めての時と比べると、今回は日本語がもっと分かりやすくなりました。広島の原子爆弾についての話や子供達との広島巡礼についての分かち合いなど、だいたい分かりました。短かつたけど、子供達と共に旅するのには本当に楽しいことです。また、次の機会を楽しみにしています。子供達は神様にとって大切です。私達は、大人として、神様のように子供達を大切にするべきだと思います。

私はこの巡礼が本当に好きです。誰に

とつても、特にこの巡礼に参加した子供達や若者達にとって、いい勉強になり、彼らのことを見た。改めて平和について考えるいい機会になつたと思ひました。実は、正直に言うと、僕は第2次世界大戦史が好きです。しかし、そのことを、また別の視線で見なければならぬと思ひました。この巡礼で学んだことを、これから的生活に生きたいと思います。

私はこの巡礼が本当に好きです。誰にとつても、特にこの巡礼に参加した子供達や若者達にとって、いい勉強になり、彼らのことを見た。改めて平和について考えるいい機会になつたと思ひました。実は、正直に言うと、僕は第2次世界大戦史が好きです。しかし、そのことを、また別の視線で見なければならぬと思ひました。この巡礼で学んだことを、これから的生活に生きたいと思います。

河原町教会 3年 A・K

フィリピン宣教会 ノレッラ・ホセ 神学生

神学生



神様がいつくしみ深い神

であるならば、どうしてこの悲劇が起るのを許されたのか。でも、それは神様のせいではないのです。平和を守るのは私達の義務です。戦争には私達の勝利者はありません。戦争は良い結果をもたらしません。

アッシジの聖フランシスコの祈りの中に「神よ、私をあなたの平和の使いにしてください。憎しみのあるところに、愛を、もたらすことができますように。いさかいあるところに赦しを、分裂のあるところに一致を：」と言うのがあります。平和は自分から始めなければなりません。「他の人を変えるただ一つの方法は、自分を変えることによってである」とうちの宣教会の旧総長がおっしゃいました。そうすると、とにかくして私達は平和を守ることに貢献できるのです。巡礼の最後の日に、大塚司教は説教の中で「いじめや喧嘩や乱闘など、全ては、戦争を起こす要因になるものだから、それらを避けなければなりません」とおっしゃいました。環境を守ることも平和になるための一つの手段です。どうしてかといふと、全ては環境と繋がっているからです。教皇ベネディクト十六世は「全てのものに秩序と調和があれば、平和になる」と言われました。

私達が平和に生きたかったら、"Yes, we can." 生きることは出来るのです。

シリーズ
小教区

魅力ある教会って??

ー開かれた教会ー



平城遷都1300年祭でおなじみの平城宮跡から車で20分、緑豊かな丘の上にカトリック登美が丘教会があります。教会に併設している幼稚園からは、いつも元気な子供達の声があふれています。教会の一大イベントは、幼稚園との共催による秋のバザーです。地域のカトリッククラブのメンバーや、近隣のカトリック系保育園の先生方、福祉活動のチームも一緒に盛り上げます。幼稚園は毎年凝ったゲームやおしゃれな手芸品、美味しいお菓子に力を入れています。一方教会は食堂を担当し、バザー開始早々に売り切れる食券があるほどの人気です。この時は皆年齢を忘れて頑張ります。

手芸の苦手な幼稚園の保護者には、教会の手芸上手な婦人が手助けする事もあります。互いを信頼し、尊重して役割分担す

ることでバザーの共催が成り立っています。教会と幼稚園が共に活動で生き事を感謝しています。

教会には信徒だけではなく多くの未



信者の方が来られます。たとえば茶道のクラブでは、月に3回信徒と未信者が共に楽しんでいます。未信者の方が聖堂で祈ったり、教会に興味がありながら、なかなか敷居が高くて来られなかつた方がクラブに入られたりして、福音宣教の良い機会になつていています。昨年は当教会に滞在されたイギリスからのお客様に、ミサ後信徒と一緒に茶道を楽しんでいたい事が出来ました。

教会は大きな道に面しているので、結婚式の時は、道行く人が式を終えた新郎新婦の姿を温かい目で見守ってくれます。この様な機会を通して、もっと教会が地域にとけ込んで行ければ良いと思います。教会では次代を担う若い世代の育成のため、新たに教育プロジェクトを立ち上げました。様々な世代の協力のもと子供

の信仰教育に入れています。月に一度の「子どもと共に捧げるミサ」では、侍者・朗読・答唱詩編・オルガン伴奏を子供達が分担しています。その生き生きとした姿が教会に活力を与えてくれます。またホームページにミサの説教を掲載したり、掲示板と教会報「丘の星」の充実に力を入れたりしています。

登美が丘教会バザー情報	
9時	ミサ
10時	バザー開始
13時半	抽選会
	—ゲーム・物販売— —ホーリーコーナー— —食事・飲料販売—

登美が丘教会 広報部

京都教区・済州教区姉妹教区交流部

済州教区 神学生との交流

今年は、金京民(キム・キョンミン)助祭・梁彰助(ヤン・チャンジョン)神学生・李承協(イ・ソンヒョップ)神学生の3名をお迎えしました。7月1日(木)から22日(木)までの研修期間でしたが、この間、滋賀・三重・京都北部を訪問したほか、河原町・西院・大和八木教会でも信徒の皆さんと交流を深めました。

済州教区「平和キャンプ」への参加

7月24日(土)、25日(日)の1泊2日の日程で、今年は「平和のキャンプ」というタイトルで開催された済州教区の夏のキャンプに、京都教区として初めて、高校生4名が参加しました。

済州島の4・3事件にまつわる場所や平和博物館などを見学、済州島の暗い過酷な歴史を学び、キャンプでは、済州教区の夫々の教会ごとのパフォーマンスがあり、また、色々なゲームをしました。写真は「風船を使って平和を伝える」というゲームで、皆でピースマークを作っているところです。

済州の高校生と言葉の壁を越えて楽しい時間を過ごし、共に平和について考え・学ぶことが出来たこと、フレンドリーな対応など、大切な思い出となったようです。



済州教区 晨星(シンソン)学園との交流

ノートルダム女学院中学高等学校は昨年7月に済州教区の晨星学園と姉妹校提携を結びました。同じカトリックの女子校同士として、4年前から晨星の皆さんのがノートルダムを訪問されていました。姉妹校提携後、昨年12月に初めてこちらからも生徒たちが訪問し、大歓迎を受けました。



そして、この7月20日(火)～25日(日)、晨星の皆さん37名が来日されました。21日(水)、午前中は京都ノートルダム女子大学を訪問され、女学院中高には午後3時頃に到着。歓迎会で友好を深め、2泊3日のホームステイに分かれました。京都でのホームステイは今回初めての取り組み、言葉は英語が主ですが中1の生徒がおぼつかない英語で懸命に会話しているのが印象的でした。22日(木)は合唱コンクールも鑑賞していただき、終業式ではシスター朴仁淑(パクインスク)校長のご挨拶があり、最後のかわいいしぐさに生徒たちも大いに盛り上りました。

23日(金)はホームステイ先から河原町教会に集合。大塚司教司式で感謝のミサが捧げられました。韓国語の祈りや聖歌もあり、ともに祈れるのもカトリック校同士だからこそ。ミサの後、司教からは記念の品をいただき、大勢で記念写真も撮りました。

教会でホストファミリーの生徒たちはお別れしましたが、みな再会を約束していました。次は12月にノートルダムの生徒が晨星学園を訪問する予定です。でも、今年の暑さに驚かれた晨星の先生からは、夏に日本から済州島に来る方がいいのではと提案を受けました。

10月のお知らせ

教 区

聖書委員会 聖書講座

6日㊂ 19:30 7日㊂ 10:30

テーマ：神の民を聖化する司祭

講 師：白濱 滉師(サン・スルピス司祭会)

20日㊂ 19:30 21日㊂ 10:30

テーマ：神の僕である司祭

講 師：西 経一師(神言修道会)

よく分かる聖書の学び

日 時：13日㊂ 10:30 講師：北村 善朗師

会 場：カトリック会館6階 参加費300円

地区協議会

奈良カトリック協議会 聖書講座

8日㊂ 19:00 八木／9日㊂ 10:00 奈良

テーマ：七つの「預言」

講 師：雨宮 慧師(東京大司教区)

22日㊂ 19:00 郡山／23日㊂ 10:00 奈良

テーマ：典礼におけるヨハネの黙示録

講 師：一場 修師(マリスト会)

ブロック・小教区・修道会

京都南部地区 東ブロック

ウォーカソン 11月3日㊂ 10:00～14:30

受 付：8:45～9:30 河原町教会

河原町教会から鴨川沿い往復

寄付先(援助)：日本国際民間協力会(NICCO)

「ハイチ地震の緊急災害支援」/ハイチのマザーテレサといわれるSr.須藤昭子への支援/サー

ム「パレスチナの女性を支援する会」/ムリン

ディ・ジャパン「ワンラブ・プロジェクト」支援

男子カルメル修道会(宇治)

アヴィラの聖テレジアの祭日ミサと講話

司式・講話/松田 浩一師(カルメル会)

15日㊂10:00 テーマ：「イエスの聖テレサ」

トマス・アルパレス著

入門講座 2日㊂ 14:00/水曜默想13日㊂ 10:00

靈性に学ぶ22日㊂ 14:00/聖書深読30日㊂ 10:00

ノートルダム教育修道女会 召命默想会

16日㊂15:00～17日㊂15:30(締切12日㊂)

申込み：Tel.077(579)2884 Fax.(579)3804

テーマ：神の恵みを生きる

講師：山内 十束師(御受難会)

場所：ノートルダム唐崎修道院

対象：独身女性信徒 費用2,000円

聖ドミニコ女子修道会

ロザリオと共に祈る会 15日㊂10:30～12:00

みことばを聴こう！ 23日㊂9:30～16:00

指導：北村 善朗師 対象：青年男女

会費：500円(昼食代) 場所：京都修道院

高野教会(Tel.075-781-1252)

以前にミサで使用していた足踏みオルガ

ンを教会または修道院へ差し上げます。

引き取りに来てくださるのが条件です。

諸 団 体

京都カトリック混声合唱団

練習日時：10日㊂ 14:00 都の聖母聖堂

23日㊂ 19:00/31日㊂ 14:00 会館6階

京都カナの会 会館6階

3日㊂ 11:00 例会/12:00 会員の集い

京都キリストン研究会

京都の大殉教秋の巡礼会

Aコース：京都の大殉教記念碑への巡礼

Bコース：巡礼ウォーキング

詳しくは各掲示板ポスターをご覧ください

コーロ・チェレステ 会館6階

練習日時：14日㊂/28日㊂ 10:00

正義と平和京都協議会・ヴィンセンシオ会

学習会 講師／本田 哲郎師

11月6日㊂ 14:00～17:00 会館6階

テーマ：神は一番小さくされている人を選んでおられる「野宿を強いられた方を排除しようとする世の中にあって、キリスト者はどう行動すればよいのでしょうか。」

聴覚障がい者の会

手話表現の学習会 26日㊂ 13:00 会館6階

二金会 例会：8日㊂ 11:00 西陣教会

糠みその会 例会：28日㊂ 19:00 九条教会

心のともしび 番組案内

テレビ(衛星・ケーブル)スカイA スポーツプラス

毎週土曜日朝8:45(16日・30日は7:45から)

福田 勤師シリーズ「キリストの言葉」

ラジオ(KBS京都) 月～土朝5:15

10月のテーマ「平和の道具」

「一万匹の蟻運動」基金報告

累計 56,674,726円(8月18日現在)

教区広報委員会からのお知らせ

※ お知らせに載せたい情報は、原稿締切り日までに教区広報委員会宛にFax.075(211)4345か

kouhou09@kyoto.catholic.jp に発信者のお名前を明記してお寄せください。 担当：大森

※ 12月号の原稿締切り日は10月27日㊂です。

大塚司教の

10月のスケジュール

Schedule of Bishop Otsuka



- 1日(金) 9:30 幼いイエスの聖テレジア
記念日のミサ(衣笠女子カルメル会)
- 3日(日) 15:00 京都殉教者祭ミサ(河原町)
- 6日(水) 15:00 中央協 委員会
- 7日(木) 10:00 中央協 常任司教委員会
- 8日(金) 9:00 特別臨時司教総会

Y E S 2010

八幡教会 田川 愛美子

さて、今年もY E Sの時期がやってきました。「Y E S」とは、

Y : Youth(若者)

E : Encounter(出会い)、Enjoy(楽しむ)
Exchange(交流)…

S : Space(場所)

の頭文字をとて名づけられています。

昨年は「童心にかえろう」というテーマのもと、子どもの頃ってどんなのだったろう?



〔青年センターHP〕 携帯からでもご覧いただけます。 <http://www.kyoto.catholic.jp/seinen/>

青年センターあんてな

- 10日(日) 11:00 彦根教会・スペイン語ミサ
- 14日(木) 10:00 司教顧問会
- 17日(日) 13:00 滋賀地区 湖西ブロック
司教訪問(唐崎)
- 24日(日) 10:00 京都コリヤン
カトリックセンター ミサ
- 27日(木) 10:30 教区付き司祭集会
- 30日(日) 14:00 諸宗教シンポジウム(岡山教会)
- 31日(日) 13:00 亀山教会・英語ミサ

どんなことしてたっけ? 考えてたっけ?
様々なことを分かち合い、童心にかえりました。

今年のテーマは未定ですが、愛について語ろうという話が出ています。愛って色々ありますよね。あなたは「愛」と言われて最初にどんな愛を思い浮かべますか? 愛とは一体どのように捉えられているのでしょうか? 分かち合ってみたいと思います。

また、今回のミサは「楽しいミサ」というものを目標にしたいと思います。青年で作り上げた、普段はあまり感じることのできないミサにしたいという話も出ています。

まだ今は企画段階ですが、Y E S 2010に参加することによって、何か新たな発見があるかもしれません。詳細については9月下旬にはお知らせすることができると思います。HPや各小教区のポスターにてご確認ください。

日 程: 11月13日(土)~ 14日(日)

場 所: 高の原野外礼拝センター